

2025/11/26（水）

創立 138 周年記念

聖書 ルカによる福音書 10 章 25-37 節（新約 124 頁）

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスは言われた。「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか。」彼は答えた。「『心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

リベラル・アーツ

本日、創立 138 周年を迎え、激動の近代から歩みを始めた英和女学院に思いを馳せ、神様のみ守りと導きに感謝を献げましょう。また、特にこの一年に神様の御元へ旅立たれた卒業生、関係者の方々の魂の平安と、残されたご家族、ご友人のために神様の慰めと励ましを祈りましょう。（黙祷）

さて、創立記念にあたり「リベラル・アーツ」について少しお話します。リベラルは「自由」、アーツは「技術・学問」という意味です。まずリベラルは時間、お金、人、環境の制約、さらに既存の常識、考え、伝統、権威、権力から解放され、自由に観察し、考え、新しい発見をすることです。

もう一つのアーツは表現することです。例えば中 2 の数学、三角形の証明では初めに図形を観察して、わかっている仮定を述べ、合同条件が揃えば結論となります。こうして数字と文字がコラボして、定理に沿って表現されます。これがアーツです。音楽や美術、そして天体の法則にも同じことが言えます。

ですからリベラルは解放され、自由になり、本当の、新しい、まだ気づいていない自分と出会うことです。そしてアーツは一人ひとりが違って互いにつながり、他者と分かち合い、誰も知らない新しい世界を表現します。祈りと学びの生活を繰り返し、これからも感謝と讃美を重ねていきましょう。

(黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは昔、遠いカナダのカニングハム宣教師によき志を与え、この西草深の地に「静岡女学校」を建てられました。創立 138 年にわたる深い御摂理に感謝を献げます。しかしここまでの歩みには聖書を読み、礼拝を献げることを禁じられた時があり、静岡大空襲では校舎が全焼しました。戦後、宣教師が再び来日され、国内外の教会の信徒、同窓生の篤い祈りと支えで英和女学院は甦りました。そして、今、世界の人々と共に、わたしたちは地球温暖化による異常気象、自然災害、度重なる愚かな争いの危機と向き合っています。どうか日々悲しみに耐える人々を想い、祈り、平和の器とされ、ひと時でも早くあなたの与える平和に与らせてください。この言い尽くせない感謝と願い、尊き主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン